

造影MRI検査の説明書・問診票・同意書

第2版 2013年7月

造影剤（ガドリニウム製剤）を静脈内に注射し使用します。

造影剤の使用により、病変の存在や性状が詳しく描出され、病気の早期発見や診断および治療などに大いに役立ちます。

病気の種類によっては、造影剤を使用して初めて診断可能なものも多いです。

「副作用」について

造影剤は安全な薬ですが、他の一般のお薬と同様に、まれに副作用が起こる場合があります。

- ① 軽い副作用：じんましん、はきけ、おう吐など。（100人に1人）多くは心配いりません。
 - ② 重い副作用：呼吸困難、血圧低下、意識消失、腎不全など（数万人に1人）。点滴等の治療が必要となります。極めてまれですが、死亡例もあります。（100万人に1人）
 - ③ 遅発性副作用：まれに検査後、数時間以降に発疹などの症状が出る場合があります。多くは軽いものです。
- ※ まれに造影剤が血管外に漏れて注射部位がはれ、痛みを伴うことがあります。時間がたてば吸収されて心配いりません。漏れた量が非常に多い場合は、処置が必要となる場合がありますが、非常にまれです。

「問診票」

次の事項に該当する場合は、副作用の発現率が増しますので慎重投与となります。

以下を、チェックしてください。

- ・造影剤の使用歴がある。
なし あり（副作用は？ なし あり：症状は（ ）
- ・アレルギー性の病気や体質がある。
なし あり（気管支喘息、じんましん、鼻炎、花粉症、アトピー、食物、薬剤など）
- ・腎臓の病気がある。または腎機能が悪い。
なし あり（ ）
- ・心臓ペースメーカーを埋め込んでいませんか？
なし あり
- ・体内金属の有無について
なし あり（補聴器、人工内耳、動脈瘤クリップ、心臓人工弁、金属ステント、人工骨頭・関節、義歯等）
- ・経皮吸収貼付剤・貼り薬（ニコチネル、ニトログラム、ノルスパンテープ等）を貼っていませんか？
なし あり（ ）
- ・現在妊娠中、または授乳中である。 ※ 授乳中の方は、造影剤注射後24～48時間は授乳を避けてください。
なし あり（ ）

当院では、万が一の副作用に対して適切に対応し、必要な処置をいたします。

造影剤の必要性を十分に御理解の上、同意書に御署名願います。疑問な点は担当医に遠慮なく御質問下さい。

同意された場合であっても、撤回はいつでもすることができます。

「同意書」

私は造影剤の必要性と副作用の可能性について説明を受け理解し、造影MRI検査を受けることに同意します。

令和 年 月 日 患者(または代理人)署名 _____ (続柄: _____)

説明医師 署名 _____

同席看護師 署名 _____

同意書の有効期限：6ヶ月

※ 検査終了後は、水分を十分に（200ml以上）とるようにしてください。

なお、水分制限をされている方は、担当医と相談してください。

また、帰宅後数時間から数日後に体調の変化を感じた場合は、すぐに来院されるか下記に御連絡下さい。

由利組合総合病院（平日 8:30～17:00）Tel：0184-27-1200 左記以外の時間 救急外来 Tel：0184-27-1202